



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

とうきょう すくわくプログラム

活動報告書

久米川なかよし保育園

ふたばぐみ（1歳児）

1 活動のテーマ

自然

2 問いを考える

散歩で歩く道中、地面に映る影に手を振ってみた。不思議
そうに動く影を見つめる子や「あ」と陰に気付く子光と
影を通して光と影にふれてみる

- 1 2月 影見つけた お日様はあったかいね
- 1月 影踏み鬼ごっこしてみよう
- 2月 懐中電灯で遊ぼう
- 3月 懐中電灯で宝探し

3 環境をデザインする 活動のために準備した素材や道具

- 懐中電灯
- プロジェクター
- カラーセロファン
- 紙コップで作る懐中電灯
- シルエットクイズ

『影』『光』 身近にあるものだが、意識して
気づけるように戸外活動を設定する

懐中電灯を様々用意し、子ども達の興味関心
に合わせ展開できるように準備する

4 探究活動の実践



ふわふわで、
カサカサ背中が
いってるみたい

はっぱ、あなが
あいてる？



「ばあ」お肉
みたいな葉でしょ
葉っぱご飯も、
葉っぱふりかけも
作りました



「ここも」
気をめくると
ダンゴムシの
おうちあり
ました



虫眼鏡を使うと
いつもとは違う
発見！



これも自然！
泥の感触にも
思い切り触れ
合いました



どんぐりにも
赤ちゃんどんぐり、
太っちょどんぐり、
全部違うね



歩く度「ザクザク」「カシャカシャ」
茶色の葉っぱは音が
鳴る



5 振り返り

光と影は身近にありながら普段意識をしていないが、子ども達の歩く影に手を振ったり、影で鬼ごっこをしたり、いろいろ遊びが広がってきた

シルエットクイズでは形を見てイメージして答えるやり取りに子ども達の表情がとてもイキイキしていた。興味があることに一生懸命に目を向け考えていた。

懐中電灯で壁に光を照らすと、「ハッ」として一気に光を目で追っていた。動く光に反応していた。光がテーマは難しいかなとも思ったが、行ってみると楽しみやすく、子どもになじみやすいテーマになった



太陽のまぶしい日、空を見て「今日は雲が一つもないね」と子どもからかけられた言葉。あーなんてきれいで素直な表現と、とっても優しい気持ちになった

部屋を暗くすると一瞬不安になる。子どもにとって明暗は 安心と不安ともいえる。思い出DVDを壁に映しだし、壁に映る自分の顔に嬉しそうに反応し全身で喜びを表していた。

暗闇の中、光の鬼ごっこ（投影）や床や天井に好きなキャラクターが出てくると、座っていた身体が、膝立になり、子どものワクワクする好奇心、気持ちがますます膨らんできた。子ども達の説教的に参加する姿がよかった楽しいテーマになった